

実務経験者向け講習

	コース	分類	テーマ	内容	講師	会場	
5月20日	木	A	実践	良い記録書くためのポイントと書き方	介護現場では介護記録が大事です。日々の業務や利用者のケアに役立つ記録とするために、大切な視点や記録の活かし方、書き方等を訪問介護を中心に学びます。	柴田範子氏 元東洋大学准教授・NPO法人楽理事長	オルタナティブ生活館 301
6月4日	金	B	実践	認知症の方とのコミュニケーション	認知症の方への適切な援助と留意点について学び、認知症高齢者及び家族とのかかわり方を考えます。事例から、こんなときどうする？を共有しましょう。ユマニチュード等についても学びます。	長谷川栄子氏 (社福)いきいき福祉会	オルタナティブ生活館 301
6月15日	火	C	実践	【訪問介護】サービス提供責任者の役割の再確認	訪問介護事業をスムーズに運営するためには、サービス提供責任者が自身の役割を熟知し、ヘルパーの指導に当たることが重要です。リーダー交代時に十分に引継ぎができていますか？この機会に不安を解消しませんか。	柴田範子氏 元東洋大学准教授・NPO法人楽理事長	オルタナティブ生活館 まなびや
9月27日	月	H	保健・医療	【介護技術】高齢者の口腔ケアと食べること	食べることは高齢者の生活に直結し、食べることは生きることであります。いつまでも元気で暮せるように、口から食べることの大切さを学び、摂食嚥下機能について学びます。また、誤嚥につなげないための具体的な口腔ケアについてチェックシートなどを利用した演習で、理解を深めます。	枝広あや子氏 東京都健康長寿医療センター研究所・自立促進と精神保健研究チーム・認知症と精神保健・歯科医師/研究員	オルタナティブ生活館 301
10月26日	火	K	実践	「生活リハビリ」介護の基本	これからの介護では、「生活そのものが機能訓練」とする生活リハビリの考え方がますます重要になってきます。「生活リハビリ」基本的考え方を、初期に生活リハビリクラブ戸手でリーダーをされていた松沢氏から学びます。	松沢明彦氏 ヒューマンサポート湘南鍼灸・マッサージ治療院・院長・介護福祉士・社会福祉士	オルタナティブ生活館 301

実務経験者向け実技講習

	コース	分類	テーマ	内容	講師	会場	
7月16日	金	E	実技演習	【介護技術】機能訓練につながる高齢者の体操	高齢者の身体の仕組みを理解するとともに、高齢者の日常に役立つ体操(ストレッチ)を、専門職である理学療法士より学びます。また、デイサービスで実際に行っている体操のレクチャーを受けます。	清水陽平氏 理学療法士会会員 介護老人保健施設コスモス リハビリテーション科 科長	オルタナティブ生活館 とびはね
10月11日	月	J	実技演習	【介護技術】すぐに使える ボディメカニクスを活用した移動・移乗	移動・移乗介護を講師が分かり易くお教えします。利用者の自立を引き出し、介護職の身体を守るために力任せでなく人間の自然な動作をふまえた介護技術を実技演習を通して学びます。利用者・介護者にとっても安全で安心な移動・移乗介助の基本と講師が提唱している技術を学びます。	竹田幸司氏 田園調布学園大学准教授	ウイリング横浜介護実習室1
11月30日	火	M	実技演習	【介護技術】座位・姿勢の重要性～嚥下やポジショニングを踏まえて～	高齢者の1日の中で、座位や姿勢は非常に大事です。食事の時やベッドで安楽にしている時等、その時と場合に応じた対応が求められます。実技演習を通して学びます。	竹田幸司氏 田園調布学園大学准教授	ウイリング横浜介護実習室2

全員向け講習

参加枠無し

	コース	分類	テーマ	内容	講師	会場	
7月1日	木	D	実践	傾聴～上手な話の聞き方と心をケアする基本(1)～	「傾聴」とは、人間関係を築く鍵とも言われ、相手を理解し共感するだけではなく、相手の行動や変化がサポートできるようになるものです。対人援助の基本でもありますが、自分自身のコミュニケーションやスキル向上にも生かされます。介護の現場だけではなく、居場所・サロン等でも活用でき、学んでおきたい研修です。	松尾隆義氏 NPO法人パートナーシップ アンドリスニングアソシエーション 副理事長	オルタナティブ生活館 301
8月31日	火	F	実践	人生の最終段階にかかわる援助者を目指して	病院ではなく、自宅や施設での看取りが増えていきます。その人らしく終末期を生き、そして逝くことを支えるために学びます。人生の中で最も大きな苦しみと直面している方とどのように向き合うべきか、人権や尊厳を守って見送るために何に気を付けるのかを考えます。	坂本文典氏 (社福)逗子市社会福祉協議会さくら貝サービス事業所 所長	オルタナティブ生活館 301
9月16日	木	G	実践	傾聴～上手な話の聞き方と心をケアする基本(2)～	第1回目の理論を踏まえ、事例を共有するとともにワークも取り入れて、体験しながら楽しく学びます。	松尾隆義氏 NPO法人パートナーシップ アンドリスニングアソシエーション	オルタナティブ生活館 301
10月7日	木	I	子育て支援	発達障害～一人一人の個性によりそう支援	発達が気になる「子ども」の様々な特性を理解し、どのように対応したり配慮が必要なのかを学びます。障害があるなしにかかわらず、個性に寄り添った支援とは何か考えてみましょう。また、地域の中で活動している人たちの状況も伺います。	桜井美佳氏 横浜市発達障害者支援センターセンター長	オルタナティブ生活館 301
11月9日	火	L	実践	若者の居場所自立を考える	発達障害、若者の引きこもり、就労などが社会的な課題として認識されるようになって長い時間が経ちました。かつての若者は熟年、高齢者となりつつあります。新型コロナウイルスの影響で、生きづらさを抱える人たちが増えているような状況で、地域で何を発信してどう支えていくのか。自立とは何かといったお話を伺います。	船松克代氏 NPO法人横浜メンタルサービスネットワーク法人副理事長 公認心理師 東海大学 健康学部健康マネジメント学科 准教授	オルタナティブ生活館 301
12月3日	火	M	子育て支援	子どもの虐待は何故起こる？	核家族化や関係が希薄な地域の中で、子育てに対する不安やストレスを一人で抱え込んでいるお父さん、お母さんが多くなっています。最近の子育て事情(出生数の推移や親の有職率等)を踏まえた上で、どうして虐待は起こるのか、虐待の基本知識と虐待を受けた子どもの育ちなどの問題と対応について学びます。また、コロナ禍で親のストレスから虐待が増えている現状などを伺います。地域に住む私たちにできることを考えます。	青木幸子氏 (社福)子どもの虐待防止センター	オルタナティブ生活館 301